

福祉情報紙

第25号

2007. 9. 1

福祉 ふくどん

福祉は、町内の福祉に関する情報をひとつにまとめて、福祉団体や施設の紹介をしながら情報提供しています。福祉の情報が井におおもり！



翁長キヨさん宅(小郡区)にて愛和保育園の園児の皆さん

おばあさんお元気ですか～

社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者、高齢者夫婦、しょうがい者、父子世帯の支援を必要とする方に地域ボランティアが中心となり友愛訪問を行い、食事を提供することで安否確認や孤独感の解消を図る事を目的にお元気ですか事業を実施しています。その中で愛和保育園の協力の下、園児の皆さんが地域の対象者3件への友愛訪問を行っています。毎週金曜日に園児の訪問を受けている翁長キヨさんは、「子ども達の元気な姿をみると私も元気が出ます。」と話していました。園児の皆さんは歩いて訪問していますが、その途中でも地域の皆さんが声をかけてくれたりと、とてもほのぼのとした雰囲気の中での友愛訪問を行っていました。

編集・発行



社会福祉法人

西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

問い合わせ

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL www.nisya.net E-MAIL nisya@nisya.net

福祉情報紙「福祉」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金等によって作成されています。

平成19年度ボランティア体験学習

福祉学習・ボランティア体験をすることにより地域福祉活動の意義を知ってもらい、助け合いの精神を育成するとともに、今後幅広いボランティア活動を展開することを目的として平成19年度ボランティア体験学習会を開催したところ、中学生66名、高校生24名の参加がありました。7月23日と25日はオリエンテーションを行ない、「ボランティアの活動の心得」や実習の際の注意事項等の説明し、参加者が希望する町内福祉施設の選択をしました。



体験学習の様子

また、7月30日～8月17日の期間には生徒自身がボランティア活動を知ってもらうきっかけづくりとして町内福祉施設でボランティア体験を実施しました。修了式では、車イス利用者の大城千枝子さんを招き「1歩人との架け橋」と題し福祉講話を行ない、日常生活でたくさんの人との出会いから学んだことや障がいについての理解を深めました。講話終了後には平安恒政町社協会長より修了証書の授与を行ない、無事学習を終えました。最後に、本事業にご後援を頂き、参加者の受入れやご指導頂きました福祉関係施設の皆様に厚くお礼申し上げます。



体験学習の様子



終了式にて記念撮影

リフト車を利用しませんか？

町内の65歳以上の方で歩行困難、寝たきり、車イスを利用されている高齢者の方に対して、リフト付ワゴン車で車イスに乗ったまま病院や公的機関などへ、運転手付で無料送迎を行っています。外出や通院に不便を感じている方、1度利用されてみてはいかがでしょうか。詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



リフト送迎の様子

はばたき紹介(室内班)

僕達、室内班は昨年度に続いて今年度も喜屋武明、外間辰雄、儀間朝人の3人が担当しています。室内班の指導員は入田里紋子です。

室内班ではどんな仕事をしているのかというと、有限会社エスケイキャンより届けられたタオル切れ、白綿ウエス、カラーウエス、ユカタウエス、シーツウエス、おしぼりウエスのしわ伸ばしや決められた重さへの計量、たたみ、包装をしています。レストランやホテル等で使い終わったおしぼり、浴衣、バスマット、シーツ等が事業所を通してはばたきへ届けられます。これを材料に種類別に決められた重さに計り、その後決められた大きさにたたみます。確認が終わった物は袋に詰め事業所へ出荷します。出荷された後工場などへ納品され機械の油拭きや車拭きに使われます。

僕達3人は今年度で室内班になってから2年目になりました。今後もこの3人のメンバーで協力し合って楽しく室内班を頑張っていきたいと思います。






左：喜屋武明さん 中央：儀間朝人さん 右：外間辰雄さん



居宅支援事業所 ご利用案内




ご利用できる方	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害福祉サービス受給者（居宅介護・重度訪問介護） ● 西原町地域生活支援事業受給者（移動支援事業）
ご利用日・時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 日曜日～土曜日（年末年始休み12/31～1/3） ● 朝6時～夜12時
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 居宅介護計画の作成 2 身体介護に関する内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 食事の介護 ② 排泄の介護 ③ 入浴の介護 ④ その他日常生活を営むために必要な身体の介護 3 家事援助に関する内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 調理 ② 洗濯 ③ 掃除 ④ その他日常生活を営むために必要な家事の援助 4 生活・介護等に関する相談及び助言 5 日常生活支援（身体障害者に限る） 6 その他の生活全般にわたる援助 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>



地域生活支援事業(生活をサポートします)



概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 公的制度（介護保険・障害福祉サービス）を利用できない方や利用しているがもっと家の事を手助けしてほしい方に対し有料でのサービスを行っています。お気軽にご相談下さい。
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ● サービス内容及び利用料金 <ul style="list-style-type: none"> 1 1時間あたり：1,000円（ヘルパー有資格者を派遣） 食事の支度・衣類の洗濯、住居等の掃除、整理整頓、通院等外出の付き添い 2 1時間あたり：800円 生活必需品の買い物、留守番、話し相手 ※その他、簡易な身の回りの世話も行います。 <div style="text-align: right;">  </div>
上記に関するお問合せ	<p>西原町社会福祉協議会 電話 945-3651</p>

いいあんべー家コーナー

お問い合わせ 西原町いいあんべー家
TEL946-1734
FAX946-1736

いいあんべー共生事業(ミニディサービス)～内間団地区～

内間団地区いいあんべー共生事業は、平成13年度からスタートし、今年で6年目となります。対象者は約28名余りですが、現在15人前後で協力者の皆さんと、第2木曜、第4木曜の毎月2回活動しています。月1回、自分達で作った料理やお菓子をいただきながら、得意とするレシピや最近の近況についてゆんたくに花を咲かせています。その他、健康に関する講和を積極的に取り入れ、楽しみながら健康的な身体作りに意欲的に励んでおります。今後の課題として、これからもいいあんべー会員の皆様がいつでも気軽に参加出来るような拠点作りに努めたいと思います。(内間団地区いいあんべー共生事業 神谷恒子、大宜見さおり)
(次回は西原ハイツ区の予定です。)



内間団地いいあんべー会の皆さん

平成19年度介護予防事業「有機ではじめる家庭菜園」受講者募集

- 目的：植物を育てる過程は園芸療法といわれ、認知症予防効果があり、趣味、生きがい、仲間づくりで心身共に健康な体をつくる事を目的とする。
- 内容：有機ではじめる家庭菜園
- 期日：平成19年9月24日(月)振替休日・9月30日(日)・10月7日(日)
(全3回)時間9時30分～11時30分
- 場所：介護予防拠点施設西原町いいあんべー家 多目的ホール
- 対象：西原町在住の40歳以上の方(団塊世代の方もお待ちしております。)
- 定員：30名(先着順。定員に達し次第締め切らせていただきます。)
- 講師：稲福 さゆり氏(樹木医・オーガニック農産物検査員・農業改良普及員)
- 受講料：200円(材料費)
- 持ち物：筆記用具 空ペットボトル500mlを2本
- 募集期間：平成19年9月3日(月)～9月15日(土)午後5時まで
- 申込方法：電話又は直接申し込む。(氏名・年齢・住所・電話番号)
- 申込先：西原町いいあんべー家(担当 稲福)



今日からさっそく介護予防～積極的に外出しましょう～

買い物、趣味、散歩、おいしいものを食べるため、友人に会うため、いろいろな目的をもって外出されているでしょう。外出すると、必然的に歩く事となり、階段の昇り降り等も含め、自然に運動することにもなります。いつまでも、自分の力で外出できるよう外出の機会を積極的に元気うちから、情報を集めて趣味や、地域活動の仲間を少しずつ広げておきましょう。また、閉じこもりがちの方に、是非言葉をかけてあげてください。



ちょこっと体操日程変更のお知らせ

前回の福井にちょこっと体操の日程を火曜日・金曜日と書いてありましたが、7月から2月末まで月曜日と金曜日にちょこっと体操を開催しております。

場所：いいあんべー家ホール
対象：西原町在住40歳以上の方
開催：平成19年7月～平成20年2月末日
日時：毎週月・金曜日 1日2回

①10:00～10:20 ②13:00～13:20(各20分)

講師：いいあんべー家スタッフ

受講料：無料

※祝日と年末年始はお休みとなっております。



地域福祉を支える地道な活動を！
わが区の民生・児童委員のはたらき

呉屋区民生・児童委員
呉屋定子

呉屋区は県道三三八号線に沿って、西原中学校側から中央公民館近くまでの約一キロの間に百七十二戸が居住し、位置的には西原町のほぼ中央に位置する集落である。現在、民生委員児童委員一人、主任児童委員一人で活動しており、最近では、集落に隣接する三三八号線沿いに病院が立ち並び、病院通りと呼ぶ方もいるほどで、高齢者の方々は周辺はこのような環境になったことを喜んでおります。そのほか、コンビニや理髪店等々建ち並び、大変住みやすい環境と言えます。



朝のラジオ体操の様子

続けてきました。が、ぜひ呉屋区に民生児童委員をもう一人増員して頂きたいと思っております。行政と学校、地域、家庭の連携が叫ばれて久しいですが、その連携を取り持つのが現場で、折々を見て判断している民生委員です。民生委員が居なければ、この連携を保つのは困難だといえます。呉屋区は現在、近くにパークゴルフ場やテニスコートができ、警察社宅等が建ち、児童数は増加しています。毎朝のラジオ体操にも多くの子どもたちが参加し、綱引き等の地元の行事にも多数の方が参加する大変な盛り上がりを見せている状況です。

又、いいあんべー事業（ミニデイサービス）にも積極的に参加しています。呉屋区のいいあんべー友の会は、平成十八年の一月に結成し、十九年七月現在で三十二回の活動で、まだホヤホヤの会です。毎回、グループホームさわふじの看護師が喜屋さんのきめ細かい健康チェックで安心して始めています。対象者の参加はいつも男性が多く（三



いいあんべー事業の様子

分の二は男性）、テーブルやイスの準備片付け等はあるという間にやってしまうパワーがあります。女性は数では負けていますが、明るい声で会を和やかにしています。ボランティアは民生委員の私助言をしながら、四十代、五十代、六十代、七十代の七名のメンバーで、それぞれの持ち味を生かしながら協力して楽しく活動しています。健康状態を確かめたり、健康に関する情報を得たり、コミュニケーションの場となり、地域の活性化と健康への関心を高める元気な会です。

(次回は与那城区の予定です)

民生委員九十周年記念大会に参加して

西原町第一民児協会長 喜屋武光廣

民生委員制度創設九十周年全国民生委員児童委員大会が七月五日、六日の両日、日本武道館他、東京都内四ヶ所の会場で開催されました。初日の五日には天皇后陛下が御臨席なされ、日本武道館にて式典全体が開かれました。開会宣言後、民生委員児童委員物故者への黙祷、民生委員・児童委員信条朗読と続き、天皇陛下がお言葉を述べられた後、表彰に移り、五千八百九十八人の民生委員・児童委員と八十一カ所の民生委員児童委員協議会が表彰されました。記念講演では服部幸應氏による人と心と体を育む「食育」というテーマでお話があり、現在の

日本における「食」の状況、世界的に見た食料、環境問題、幼児期からの「食育」による生活習慣病の予防など、「食」と健康、マナーなどの重要性を強調した示唆に富む話でありました。その後、アトラクションがあり、火山噴火で大被害を受けた三宅島木遣太鼓の力強い演奏があり、島の復興にかける島民のエネルギーがほとばしっていました。

六日は四会場に分かれて、テーマ別研修に参加「民生委員・児童委員活動これからの十年九十周年活動強化方策」というテーマで研修し、この十年の社会福祉の変化と法整備に対する民生委員・児童委員の役割と機能の強化を図り、常に地域住民の立場に立つて要援護者を発見し進んで声かけ相談に乗り、福祉サービスにつなぎ、見守り、人権尊重、住民連携、福祉ニーズ把握、個人情報保護、守秘義務を徹底し、地域福祉の担い手として地域を耕し、専門職や福祉の実践者などとともに協働する事が重要になっていきます。

全国二十二万人超の民生委員・児童委員、今大会に参加した約五千三百人の仲間と共に、「広げよう地域に根ざした思いやり」という九十周年記念事業テーマに沿った活動を展開して行きたいと思います。



社協活動基本目標：わたしたちは、ボランティア活動に参加し、共に喜び合える福祉のまちをつくりましょう



平成十九年度リーダー宿泊研修会（老人クラブ）

西原町老人クラブ連合会（会長 座波進）では、平成十九年度リーダー宿泊研修会を六月二十一日、二十二日の二日間の日程で行いました。今回の研修は久米島町ということで八十三名の会員の賛同を得て、三十五周年記念事業の一環として実施しました。

初日は、泊港から四時間の船旅を満喫し、午後二時から久米島町老連から役員等六十名参加で、ゲートボール、グラウンドゴルフの二組に分かれて交流親善試合を行い、お互いの交流の輪を広げ、楽しい話題で汗を流しました。引き続き福祉センターで四時より研修会を行いました。我謝、兼久若松会、棚原の三名の老人クラブ会長による老人クラブ運営の基調講



研修会の様子

演がなされました。質疑応答、情報、意見交換が活発に行われました。久米島町老連は、会員数が少ない事、資金面も苦労が多いとの話がありました。座波進西老連会長は、九州ブロックリーダー研修会で、沖縄県代表として発表した「健康づくり、介護予防活動の推進」の概要説明も行いました。町老連監事の屋良朝光氏の金丸と西原間切での講話も面白い、内閣御殿の歴史をわかりやすく話して頂き大変好評を得ていました。

宿泊地のホテルで、午後七時から夕食懇談会が久米島町老連会長、社協会長、役員数名の参加もあって九時まで交流の輪を広げ、アルコールの勢いもあってカラオケ大会では、のど自慢、腕自慢と大いに盛り上がり、明日に備える英気を養い楽しい一日目を終了しました。

二日目は、社会見学で豊石、比屋定バンタ、福木並木、海洋深層水開発工場、五枝の松等、自然の造形美に感激しきりでした。午後二時に久米島港を出港し、渡名喜経由で午後六時泊港に到着。社協バスで町福祉センターに到着し、有意義な全日程を終了しました。

応援お願いします 身体障害者協会

来たる九月九日（日）に、第四十三回沖縄県身体障害者スポーツ大会がうるま市石川運動場で開催されます。遠くは八重山・宮古などからも参加があり選手、役員合わせて約千三百人が集まる大きな大会です。このスポーツ大会は、参加者が持てる力を十分に発揮する大きなイベントとなっております。西身協からも南部福祉事務所の一員として、得点種目の選手七名、参加選手七名、合計十四名が参加する予定です。

玉那覇西身協会長は、「今回こそは南部福祉チームを優勝させるぞ」と張り切っています。

特に本大会で期待している種目は、しょうがい別リレーです。その日が晴天であることを祈りつつ、町民の皆さんの応援をお願いします。



昨年度の大会で記念撮影

楽しかったバーベキュー しょうがい児者父母の会

西原町しょうがい児者父母の会（会長 大城幸哉）では、去った八月四日（土）に西原マリンパークにて、バーベキューパーティーを行いました。多数の参加で、にぎやかに海水浴やバーベキュー、スイカ割りなどをしました。

参加している父母の皆さんと交流し、お互いの親睦を深めました。そしてボランティアの方々にも協力して頂き、楽しい一日を過ごしました。（報告者 新垣）



参加者全員で記念撮影



やんばるへ行ってきました 守礼の里

守礼の里では六月二十八日、二十九日と二年に一度のお楽しみ、ヤンバルへの一泊旅行に行っていました。

今回の一泊旅行は老人ホームのお年寄り六名、そのご家族四名、職員六名が参加しました。名護のジャスコでの買い物や夜はペンションでのバーベキュー、二日目は美ら海水族館でのお魚鑑賞などが、特に思い出深いのがお年寄り、ご家族、職員がごちゃ混ぜになつて何本もの川の字になつて眠ったことでした。

楽しい時間は早く過ぎるというようにアツという間に帰省の間。遠足で遊び疲れた子供のように皆スヤスヤと居眠りしながらバスに揺られて帰りました。



ちゅら海水族館にて

ティーボール大会 愛白水園

去る六月二十九日金曜日、施設利用者球技大会参加の為、園長はじめ総勢二十四名で、読谷村総合運動公園へむけ施設を出発。練習が思うとおりでできませんでしたが一勝を目標に臨みました。練習不足にもかかわらず白熱の試合となりました。一試合目は惜しくも負けましたが、二試合目はチーム一丸となり圧勝の勝利でした。

三十度を越す炎天下の中、選手も応援団も玉の汗を流しながら、大変お疲れ様でした。来年は全勝を目標に頑張りたいと思います。

※ティーボールは、野球に良く似たゲームです。ホームベースの後ろに置いたバッティングティーにボールを乗せその止まったボールをバットがバットで打って遊ぶスポーツです。



参加者全員で記念撮影

在宅療養診療所の紹介 池田苑

あいわクリニックは七月一日より宮城聡医師を中心に在宅療養支援診療所としての業務を開始しました。

在宅療養支援診療所（在宅医療）は、定期的な通院が困難な患者様に對して医師・看護師等が定期的に訪問を行いながら在宅で必要な医療を受けることができます。病院を退院しても患者様、ご家族の方が不安なく療養生活を送れるよう支えています。

在宅医療には各種健康保険が適用され、交通費は頂きません。訪問診療を希望される場合はお気軽にお電話下さい。担当相談員がシステムや費用について説明致します。

あいわクリニック
九四六一五五五八
(相談員 仲地)



在宅療養診療所のスタッフの皆さん

ケアガーデン敬愛園 西原敬愛園

夏まつ盛りのこの季節。西原敬愛園ではこの夏を涼しく過せるように「フロント緑化運動」に取り組んでいます。園芸好きの利用者様も多く「上等だねえ」と声かけをいただいたり一緒に作業していただいたりと皆で庭作りを楽しんでいます。

園内にある石や植木を利用したり利用者様からいただいたりと今では中庭いっぱい緑が広がり、来園者や面会のご家族も足を止めて楽しんでいただき癒しの空間となつているので、敬愛園にお越しの際は是非ご覧ください！



ケアガーデン敬愛園の様子

今年も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます



赤い羽根をシンボルとした赤い羽根共同募金運動が10月1日から12月31日までの3カ月間、全国一斉に展開されます。皆様から寄せていただいた善意の募金は、身近な西原町内の社会福祉事業のために地域で活かされるとともに県内福祉施設等で有効に使われます。本年度も西原町内の各世帯、事業所、職場、学校等において赤い羽根共同募金への協力依頼がありましたら、ご協力の程よろしくお願ひします。

なお、共同募金への募金は、法人の場合「法人税法により全額損金参入」ができます。個人の場合（募金額が1万円以上）は「所得税法および住民税にかかる寄付金控除の対象」などの税の特典もあります。

詳しくは、沖縄県共同募金会西原町分会までお問い合わせ下さい。

TEL 945-3651（西原町社会福祉センター内 担当 前田）



はばたき御中元ギフトご利用のお礼

この度は当はばたきの御中元ギフトをご利用頂き、誠にありがとうございました。今年も多くの方々に精米班のお米ギフト・喫茶班のコーヒーギフトをご利用頂きまして、利用者、職員一同たいへん喜んでおります。また、地域に出向き御中元商品の宣伝をさせていただき多くの方々のご協力を頂く事が出来ました。地域の皆様ご協力大変ありがとうございました。

これからも職員・利用者一同日々作業を頑張っておりまして、今後ともはばたきをよろしくお願ひします。年末には御歳暮ギフトの販売も予定しておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



精米作業の様子

御芳志

次の方々から西原町社会福祉協議会へ御芳志がございましたので、紙面にて紹介し、深謝申し上げます。

◆社協へ香典返し◆

- 与那城277-29番地、宮平貞子様より10万円（故夫 宮平勝正様）（6/26付）
- ・翁長169番地の5、（有）近光インテリア（代表取締役 與那嶺加代子様）より10万円（故夫 與那嶺茂 様）（8/7付）
- ・小那覇291番地の5、泉川年春様より5万円（故父 泉川寛有 様）（8/10付）

◆社協へ一般寄付◆

- ・伊礼均古典音楽研究所・伊禮末子琉舞研究所様より発表会を記念して3万円（7/2付）
- ・嘉手苅117番地の2、新中糖産業株式会社様（代表取締役社長 福里重盛様）より創立48周年を記念して30万円（7/19付）

◆お元気ですか事業へ物品寄贈◆

- ・兼久159番地の1、石原米子様よりゴーヤー（6/22付）
- ・我謝241番地の40、玉那覇香代子様より南瓜、ニラ（6/22付）

◆お元気ですか事業へ物品寄贈◆

- ・我謝241番地の64、平安恒政様よりモウイ（7/6付）
- ・与那城338番地、座波進様より南瓜（8/3付）
- ・我謝241番地の2、泉川静江様より冬瓜・豆（8/17付）
- ・我謝241番地の40、玉那覇正之様よりゴーヤー（8/17付）
- ・兼久147番地、古堅初子様よりニラ（8/17付）

◆野菜提供ボランティアさんから寄贈◆

- ・オクラ、南瓜、キュウリ、ゴーヤー（7/6付）
 - ・オクラ、キュウリ、ゴーヤー（7/13付）
 - ・南瓜、ピーマン、薩摩芋、スイカ（7/18付）
 - ・モウイ、ニラ（8/1付）
- （お元気ですか事業と緊急的に支援を必要とする世帯に活用させて頂きました。）

